

みずほCustomer Desk Report 2022/11/17号(As of 2022/11/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	139.58 AUD/USD
TKY 9:00AM	138.98	1.0359	143.93	1.1881	0.6770
SYD-NY High	140.29	1.0438	145.50	1.1942	0.6793
SYD-NY Low	138.74	1.0331	143.59	1.1834	0.6721
NY 5:00 PM	139.55	1.0395	144.98	1.1913	0.6741

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,553.83	▲ 39.09	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	11,183.66	92.89	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,958.79	▲ 32.94	米国2年債	4.3634%	0.0210%
日経平均	28,028.30	38.13	米国5年債	3.8529%	▲0.0462%
TOPIX	1,963.29	▲ 0.93	米国10年債	3.6890%	▲0.0871%
シカゴ日経先物	27,925.00	▲ 70.00	独10年債	1.9985%	▲0.0970%
ロンドンFT	7,351.19	▲ 18.25	英10年債	3.1450%	▲0.1500%
DAX	14,234.03	▲ 144.48	豪10年債	3.7100%	▲0.0660%
ハンセン指数	18,256.48	▲ 86.64	USDJPY 1M Vol	13.35%	▲0.42%
上海総合	3,119.98	▲ 14.10	USDJPY 3M Vol	12.00%	▲0.14%
NY金	1,775.80	▲ 1.00	USDJPY 6M Vol	11.24%	▲0.08%
WTI	85.59	▲ 1.33	USDJPY 1M 25RR	▲0.62%	Yen Call Over
CRB指数	282.78	▲ 1.58	EURJPY 3M Vol	11.44%	▲0.14%
ドルインデックス	106.28	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol	11.27%	▲0.08%

東京	東京時間のドル円は138.98レベルでオープン。仲値にかけてドル買いが強まり、その後も米金利上昇の流れにドルが買われ140.29まで上昇した。バイデン米大統領がポーランドに着弾したミサイルについて「ロシアから発射された可能性は低い」との見方を示したこともドル買いをサポートした。その後買いは一服し、139.76レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は139.76レベルでオープンし、午後に米10月小売売上高の発表を控えてこう着状態に終始。139.38レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円はクロス円の上昇に下値をサポートされ140.29まで戻すものの、昨日のPPI結果や月曜のブレイナード副議長発言を受けたドル売りが強まり、139.38レベルでNYオープン。朝方は米10月小売売上高が予想を上回り、コアやコントロールグループが予想を大きく上回ったことから140.05まで戻すが、米長期金利が低下する展開に139.05まで反落する。その後デーリーSF連銀総裁が「利上げ打ち止めは議論されていない。現時点での議論はベースの減速であり、それが妥当だ」と話し、更に「4.75%~5.25%が妥当だろう」との話が伝わったが、特段驚く内容でなかったことからドル円の反応は限定的となる。午後は、ECB政策委員が12月の利上げは75bpよりも50bpを支持とのヘッドラインを受けてユーロ売りドル買いとなり139.72まで戻す。終盤にかけては米長期金利が低下する中、効派で知られるウォー理事が「最近のデータは12月の50bp利上げの考えが心地よいと思わせた」と発言したことから139.26まで下落し、139.55レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが優勢となったことから1.0438まで戻し、1.0420レベルでNYオープン。朝方は一旦1.0373まで反落するが、ドル売りが優勢となったことから1.0411まで戻す。午後に入り、前述のECBに関するヘッドラインを受けたユーロ売りに1.0355まで下落するが、米金利が低下する中、ユーロドルは下値を切り上げ、1.0395レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上野・大橋

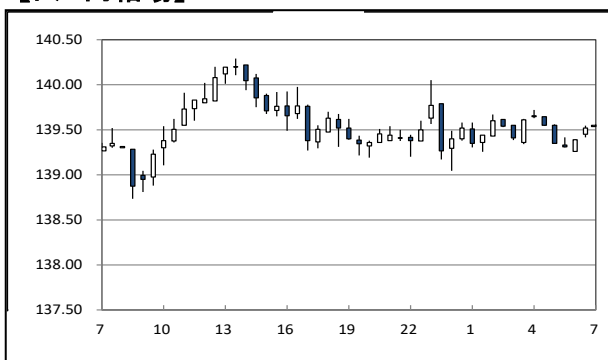
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月16日	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	10月 1.3%	1.0%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	10月 1.3%	0.5%
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	10月 -0.1%	0.1%
	23:50	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「FRBは利上げに当たり経済目標に集中を」	

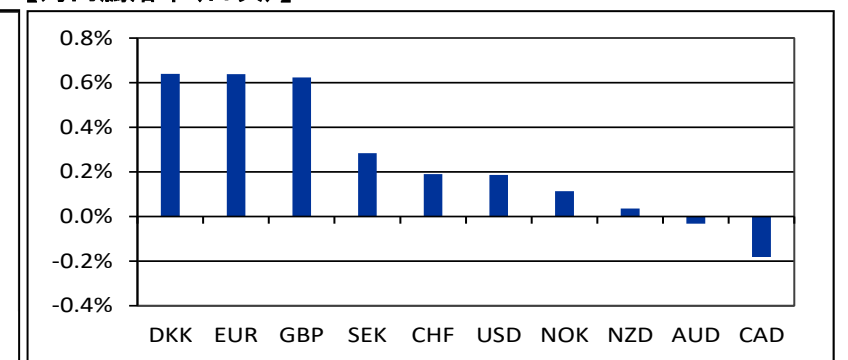
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月17日	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	10月 1.5%/10.7%	1.5%/9.9%
	19:00	欧 コアCPI・確報	10月 5.0%	5.0%
	22:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 建設許可件数	10月 1514k	1564k
	22:30	米 新規失業保険申請件数	12-Nov 228k	225k
	22:30	米 住宅着工件数	10月 1410k	1439k
	23:40	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.50-140.50	1.0300-1.0500	143.00-146.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は小幅に反落。東京序盤はクロス円の上昇にサポートされ140.29を付けるも、その後は米指標結果待ちの139円台半ばでの動意薄の推移。米小売りは市場予想を上回り発表直後に140円台を付けるも、その後は米長期金利が低下する動きに139円台前半まで反落し、139円台半ばで引けている。

本日のドル円は方向感の乏しい展開を予想。ロシアからポーランドへのミサイル発射された可能性が低いという見方が強まる中、当該トピックスの相場感応度は低下。米小売等の指標発表を消化し、FRB要人発言(12月50bp利上げを織り込ませる動きが中心で波乱はない見込み)や米金利の動きに浮沈する動意の乏しい展開になるのでは。